



平成 29 年 10 月 13 日

各 位

東京都大田区大森北 1 丁目 1 番 10 号  
 会社名 株式会社 大庄  
 代表者名 代表取締役社長 平 了寿  
 (コード番号 9979 東証第 1 部)  
 問合せ先 専務取締役 水野 正嗣  
 (TEL 03-5764-2229)

## 業績予想との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 29 年 4 月 14 日に公表した平成 29 年 8 月期の業績予想と実績値との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、特別損失の計上につきまして、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想との差異について

##### (1) 連結

通期連結業績予想との差異 (平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	65,200	700	750	150	7 円 25 銭
実績値 (B)	63,957	448	382	△438	△21 円 19 銭
増減額 (B-A)	△1,243	△252	△368	△588	—
増減率 (%)	△1.9	△36.0	△49.1	—	—
前期実績 (平成 28 年 8 月期)	68,537	△24	△73	1,419	68 円 63 銭

##### (2) 個別

通期個別業績予想との差異 (平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	56,870	400	960	470	22 円 72 銭
実績値 (B)	55,710	199	663	△80	△3 円 90 銭
増減額 (B-A)	△1,160	△201	△297	△550	—
増減率 (%)	△2.0	△50.3	△30.9	—	—
前期実績 (平成 28 年 8 月期)	58,487	△293	△337	648	31 円 37 銭

#### 2. 業績予想との差異の理由

##### (1) 連結業績予想との差異の理由

売上高につきましては、通期の既存店売上高実績が計画数値を下回ったことや、店舗閉鎖が計画数よりも増加したことなどが影響し、前回予想を下回りました。

また、営業利益、経常利益につきましては、売上高減少により売上総利益額が減少したことに加え、店舗改装及び店舗閉鎖に係る諸費用が増加したことなどが影響し、前回予想を下回りました。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記要因に加えて減損損失など特別損失の計上が計画以上に増加したこともあり、前回予想を下回りました。

(2) 個別業績予想との差異の理由

売上高につきましては、通期の既存店売上高実績が計画数値を下回ったことや、店舗閉鎖が計画数よりも増加したことなどが影響し、前回予想を下回りました。

また、営業利益、経常利益につきましては、売上高減少により売上総利益額が減少したことに加え、店舗改装及び店舗閉鎖に係る諸費用が増加したことなどが影響し、前回予想を下回りました。

一方、当期純利益につきましては、上記要因に加えて減損損失など特別損失の計上計画以上に増加したこともあり、前回予想を下回りました。

3. 特別損失の計上

当社は、平成 29 年 8 月期において下記の通り特別損失の計上を行います。

(1) 連結

合計で 609 百万円の特別損失を計上いたします。詳細は下記の通りです。

①減損損失 334 百万円

最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗設備資産等の減損処理を計上いたします。

②固定資産除却損 216 百万円

店舗改装等に伴う資産の除却・解体工事費用を計上いたします。

③その他 59 百万円

(2) 個別

合計で 650 百万円の特別損失を計上いたします。詳細は下記の通りです。

①減損損失 252 百万円

最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗設備資産等の減損処理を計上いたします。

②固定資産除却損 216 百万円

店舗改装等に伴う資産の除却・解体工事費用を計上いたします。

③その他 181 百万円

以上